

6年生を送る会を行いました

この学校だよりは、原則として月1回、各区長さん・町内会長さん方のご協力により、地区回覧板を通じて地域の皆様にご覧いただいています。

3月3日（金）、5年生が運営の中心となって開催しました。体育館の壁には、1年生から4年生までは、学年ごとに、お世話になった6年生へ、感謝の気持ちを込めたメッセージを模造紙に貼り付けて掲示しました。5年生は、6年生一人一人の写真が写った用紙にメッセージを書いて壁に貼り、会の雰囲気を盛り上げてくれました。6年間の思い出がよみがえり、とても心あたたまる会になりました。



1年「大きなおもい」



2年「えと」



3年「ようこそ3の1ワールドへ」



4年「豊畑小大パニック」
校長先生のめがねをさかせ



5年「やってみよう」



6年生「6年間の思い出」

地域貢献活動 ～2/13～

昨年度はじめて、「地域貢献活動」として学校周辺のゴミ拾いを行いました。今年も、周辺の水田等、年末あたりから、空き缶やペットボトル、紙などのゴミが目につくようになってきていました。そこで、今年度も、児童による学校周辺のゴミ拾いを行うことにしました。



縄跳びチャンピオン大会の長縄とびで編制した縦割り10班に分かれて、高学年児童が低学年児童のお手伝いや見守りをしながら、約1時間活動しました。当日、子供たちの安全確保のため、保護者の方にもお手伝いをいただき、全校児童・職員が総出で学校の周りを歩きながら、全部でゴミゼロの袋で49袋分のゴミを集め、驚くほどきれいな環境にしてくれました。子供たちも、「自分たちできれいにしよう」という気持ちをもつことができました。



スプリングコンサート ～3/9～

音楽部の6年生にとって最後の発表となるスプリングコンサートを、本校体育館で行いました。昨年度はじめて開催し、今回が2回目となりました。部員が手作りのポスターを作成し、「ゆめ仕事ぴったり体験」で、夏休みにお世話になった事業所を中心に、そのポスターを掲示していただくなどして、広報活動も行いました。



当日は、本校児童の希望者や保護者など、大勢の方が来てくださり、全部で8曲の演奏とダンスを披露しました。音楽部員のダンスに合わせて、会場の児童や先生たちも一緒に踊るなど、一体感あふれる雰囲気の中終演しました。6年生卒業のあと、来年度新4年生の入部を待ち遠しく感じさせる、素晴らしいコンサートでした。



☆作文の優秀作品を紹介します。

毎年、次世代を担う小・中学生に、ごはんを中心とした食生活や稲作、食料・農業に対する関心と理解を深めてもらうことを目的に、千葉県農業協同組合中央会並びに千葉県農協農政対策本部が主催となって開催されています。今回、作文の部において、小中合わせて320校、2,928点の応募の中から、4年生椎名瑞希さんの作品が、県4位（小中合わせて）にあたる賞に選ばれました。

第41回「ごはん・お米とわたし」作文・図画コンクール 全国農業協同組合連合会千葉県本部長賞 『お米作り』

4年 椎名 瑞希 さん

私が住んでいる千葉県旭市豊畑地区には田んぼがたくさんあり、自然ゆたかな土地です。私が通っている旭市立豊畑小学校のまわりにはたくさん田んぼがあります。

そんな豊畑小学校では、田んぼをかりて、5月に田うえ、9月にいねかり、しゅうかくしたもち米を12月におもちにして食べます。

5月は田うえです。上級生が下級生のめんどろを見ながら、なえをうえていきます。私は田んぼに入って足がぬけなくなり、しりもちをついてしまったときがあります。それでもすいすいと歩いてしまう農家の人はすごいなあと思いました。私たちがうえると、ところどころにうえていない場所があったり、なえの量が少なかったり、多かったりするところがあり、心配だったけれども、先生に、「お米は強いから大丈夫だよ。」と言われて、すこし安心しました。この小さななえがお米になるなんて「すごい。」と思いました。

9月にはいねかりがあります。先生方やお父さんお母さん方、全校児童のみんなでいねをかります。田うえのときはどろ水だったけれども、いねかりのときは、土がかわいていて歩きやすかったです。けれども、いなほがうでや足にあたってかゆかったです。いねをうえたころは私のひざ下位で青々していたけれども、4か月たつと、黄金色にかがやき、いなほは、「おもたいよ。」「くるしいよ。」と、がまんしながら立っているようにみえました。「お米はがんばって生きているんだな。」と、思いました。

そして12月、いよいよまちにまったおもちつきです。前日からお家の人がおもち米をひやしてくれます。当日は朝早くからせいろでもち米をふかしてくれます。ふかしているときのせいろから出てくる湯気はいいにおいです。ふかしたもち米をうすに入れて、きねでつきます。みんなで力を合わせてついたおもちはやわらかくて、すごくおいしいです。大ぜいで食べるおもちはかくべつにおいしいです。

一年を通してお米作りをしましたが、今はほとんどの農家の人が機械で作業をおこなっていますが、「昔はすべて手作業だったのだよ。」とおじいちゃんと言っていました。だからごはんは「一つぶ残さず食べなさい。」と言われる意味がわかってきました。いつもなんとなく食べているお米が、こんなに作るのが大へんだなんて初めて知りました。

田うえやいねかりができる学校は数少ないと思います。さらにおもちつきのできる学校は豊畑小学校だけだと思います。

この行事が、お米の大切さや一つぶ残さず食べないといけないということを分らせてもらったと思います。これからはお米を大切にしていきたいです。

保護者・ 地域の方へ

「子ども
110番の家」
について

「子ども110番の家」は、平成13年8月に、地域の住民・店舗・事業所等の協力の下に設置されました。それ以降、地域ぐるみで子供たちの安全を守ることに重要な役割を果たしています。豊畑小学区においては、平成28年度27件の事業所等に登録をいただいております。子供たちの、より一層の安全確保のため、新たにご協力・ご登録いただける方・店舗・事業所等を募集いたしますので、ぜひ、よろしく願います。

連絡先 旭市立豊畑小学校
電話 62-2581【担当:教頭】